

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	薬業科		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	基礎化学Ⅱ		必修/選択の別	選択	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	1年		学期及び曜時限	後期 曜 時限	教室名	4校舎 501教室
担 当 教 員	森田 豊	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
有機化学の初歩から勉強します。化学に親しむことを目標にします。						
《成績評価の方法と基準》						
毎回の授業に出題する『課題』、毎回の授業の最初に実施する『小テスト』、『本試験』、『授業態度』、『出席評価』を総合的に評価します。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
《授業外における学習方法》						
授業終了時に出題する課題をすること。(復習) 前回の授業内容に関わる小テストを授業の最初に実施するので、復習しておくこと。(復習)						
《履修に当たっての留意点》						
薬業科に必要な有機化学の基本を理解する。						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	有機化合物の分類と分析	配布資料	課題	
		各コマにおける授業予定	有機化合物の特徴、有機化合物の分類、有機化合物の分析			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	飽和炭化水素	配布資料	小テストと課題	
		各コマにおける授業予定	alkane、構造異性体、alkaneの立体構造、alkaneの性質と反応、シクロアルカン			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	不飽和炭化水素	配布資料	小テストと課題	
		各コマにおける授業予定	alkene、alkeneの立体構造、alkeneの反応、シクロアルケン、アルキン			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	アルコールとエーテル	配布資料	小テストと課題	
		各コマにおける授業予定	アルコール、アルコールの性質、メタノールとエタノール、多価アルコール、エーテル、			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	アルデヒドとケトン	配布資料	小テストと課題	
		各コマにおける授業予定	カルボニル化合物、アルデヒド、ケトン、ヨードホルム反応			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	脂肪族カルボン酸とエステル	配布資料	小テストと課題
		各コマにおける授業予定	カルボン酸、ギ酸と酢酸、ジカルボン酸、光学異性体、エステル、油脂、セッケン、合成洗剤		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	芳香族炭化水素	配布資料	小テストと課題
		各コマにおける授業予定	ベンゼンとベンゼン環、芳香族炭化水素、ベンゼンの置換反応、ベンゼンの付加反応、ベンゼンの酸化反応、ナフタレンとアントラセン		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	フェノール類	配布資料	小テストと課題
		各コマにおける授業予定	フェノール類の構造と性質、フェノールの反応、フェノールの合成		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	芳香族カルボン酸	配布資料	小テストと課題
		各コマにおける授業予定	芳香族カルボン酸、安息香酸、フタル酸とその異性体、サリチル酸、カルボン酸としての反応、フェノール類としての反応		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	芳香族アミンとアゾ化合物	配布資料	小テストと課題
		各コマにおける授業予定	芳香族アミン、アニリン、アセチル化、アニリンの製法、アゾ化合物、アゾ化、ジアゾカップリング、ジアゾニウム塩の熱分解		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	有機化合物の分離	配布資料	小テストと課題
		各コマにおける授業予定	有機化合物の分離の原理、有機化合物の分離の例		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	有機化合物の反応とおもな有機化合物	配布資料	小テストと課題
		各コマにおける授業予定	有機化合物の決定、脂肪族化合物の相互関係、芳香族化合物の相互関係、		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	総復習	総復習資料	小テストと総復習資料
		各コマにおける授業予定	総復習		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	総復習	総復習資料	総復習資料
		各コマにおける授業予定	総復習		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	後期試験	後期試験	
		各コマにおける授業予定	後期試験		